

佐保台小・田植え報告

西出 勉

田植え行事が行われる前日の7日、奈良地方は梅雨入りしたとの報道。8日、午前の奈良市域の降水確率は40%との気象予報。五條を出発するころは、昨夜からの雨が降り続いていたが、平城山はそうでもないであろうと北上する。奈良中部の田原本辺りに近づくと雨も上がり、平城山ベースキャンプには、いつもより少し早めに到着。

早速、長靴を履き、いそいそと手近にあった鍬を片手に、気になっていた田んぼへと向かい、畦周りや水の深さなどの状況を見させていただいたところ、さすがであります。この連携した活動の素晴らしさに、感謝の一言。

続いて、本日の準備をしている最中に、一時的ではあるが、雨避け避難をするほどの雨が降ったが、佐保台小学校の先生方と5年生の生徒達19人が到着するころは曇り空となり、田植えするには心地のよい天候となる。

田植えを手で植える経験の少ない私に、当会の先輩が苗の外し方などを手ほどきしてくださり、その手ほどきを、そのまま小学校の生徒に教えました。

この子たちは、赤いたすきをして私たちと話をしながら、号令に合わせて一足ずつ前へ進み一緒に田植えをした。その時にどなたかが田植えの唄を響き聞かせてくださったことや、田んぼの神様に花を供え、二礼二拍手一礼をして稲の豊作を祈る神事を行うなど、よき思い出として記憶に残ることでしょ。



☆田植え体験の翌日、早々に子供たちの感想文が届きました！

「担任・田中先生」

初めて体験した子どももたくさんあり、全員が「楽しかった」と大喜びでした。子どもたちにとって、普段は体験できない貴重な時間でした。子どもたちの感想から一言ずつですが、抜粋したものをお届けします。

お世話になった会員の皆さま方によりしくお伝えください。

◇僕はこけませんでした。田植えは簡単でした。

◇こけそうになってパニックになり、おじさんが助けてくれてよかったです。

◇いきなり赤いたすきをしてもらって、「千と千尋」みたいでした。

◇どんどんうまくなってきて嬉しかったです。

◇一列でも大変なのにもっと長い田んぼだったらもっと大変だろうなと思いました。

◇大きくなるのが楽しみです。

◇はじめは歩きづらかったけど、やっているうちにうまく歩くことができ嬉しかったです。

◇苗を植えるのとか足のぬき方とかが難しかったけど、慣れてくるとだんだん楽しくなりました。

◇おいしいお米になってほしいです。

◇難しいと思ったけど、簡単だったので安心しました。

◇足を入れた瞬間、とても気持ち良かったような気持ち悪かったような感じでした。

◇また田植えをしたいです。

◇赤いたすきをまいてもらってびっくりしました。

◇デザートにグミをもらいました。おいしかったです。

◇まず、入ったらいきなり村だったので、びっくりしました。

◇田んぼに入ってネチョネチョしてるなと思いました。いい経験になったと思います。

◇田植えをしているときに足が抜けなくなりそうでした。